

# 2025 年度事業報告書

(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

2025 年度は、期初計画通りの事業を遺漏なく実施いたしました。

収益面においては、償還集中時期を迎えた保有債券の入替を順次行い、利息増加と株式の増配により特定資産運用益は増加しました。主力の「統計普及・啓発事業」では、定期刊行の 4 書籍を発刊しました。電子書籍の売上（売上割合 約 10%）は引き続き増加傾向にあるものの、紙版書籍は販売部数の長期減少傾向の中、取次各社からの初回委託注文数が減少し、事業収益は大きく減少しました。

費用面では、効率的・効果的な経費使用という方針のもと、引き続き書籍制作費、広告費を中心に全般的な経費削減を実現し、展示会を開催する中でも全体の費用は大きく減少しました。

この結果、公益目的事業に関しては公益法人認定法に定める『中期的収支均衡』を満たすとともに、法人運営経費を含めた財団全体の収支は評価損益等調整前で黒字でした。

## I. 事業の概要

当財団は、第一生命保険の創立者で、生命保険事業の発展に偉大な功績を残すとともに、統計の普及、公衆衛生や社会教育の向上、農業の振興など各方面に多大な貢献をした故矢野恒太（以下故人と記載）の事績を顕彰し、その思想を普及させるため、各種の記念事業を行っています。

2025 年度においても事業計画に基づき、定款に定められた各事業を次のとおり実施しました。

## II. 個別の事業内容

### 1. 統計普及・啓発事業 <公益目的事業>

#### (1) 統計データブックの編集・刊行

当財団の中核事業として、1927 年に故人が創刊した「日本国勢図会」の他、3 種類の統計データブックを編集・発行し、統計の普及・啓発を図りました。

また、多様な購読者のニーズに応える取り組みとして、現在ではすべての統計データブックにおいて、電子書籍を同時に発行しております。

さらに、「日本国勢図会」及び「データでみる県勢」について、当財団のホームページから一部統計データをエクセル形式でダウンロードできるサービスを 2017 年 12 月より提

供しております。

本年度発行書籍、部数並びに本年度末時点での書店販売部数は次のとおりです。

	書籍名	発行日	版数	発行部数	販売部数	前年度販売部数	対前年比
①	日本国勢図会	6/1	83	14,000	9,828	10,282	95.6%
②	世界国勢図会	9/1	36	10,000	6,551	7,153	91.6%
③	データでみる県勢	12/1	35	7,000	3,942	4,281	92.1%
④	日本のすがた	3/1	57	22,000	10,009	12,490	80.1%
	合計			53,000	30,330	34,206	88.7%

全書籍、読者カード（郵便はがき）にて読者の方々の意見・要望を編集に活かすようにしており、意見・要望には、その章を担当する編集職員より文書にて回答しています。

## (2) 統計データブックの贈呈

### 在外教育施設への教育支援

海外子女教育活動への賛助として、当財団発行の「日本国勢図会」、「日本のすがた」、「世界国勢図会」の3書籍を、各書籍の発行と同時に、全日制日本人学校と補習授業校および私立校計 209 校に対し、電子書籍のクーポンを送付し、年間合計 1,252 冊を提供しました。

## (3) 統計関連団体への出捐

日本国内における統計の普及・啓発を図る事業への賛助として、青少年への統計の普及と、統計の表現技術の研鑽を図るため、全国の小・中・高校生等を対象に実施される「統計グラフ全国コンクール（公益財団法人統計情報研究開発センター主催）」が10月に開催（第73回）され、賞金ならびに賞品を贈呈いたしました。

## 2. 表彰・奨学金事業 <公益目的事業>

### (1) 矢野賞

故人は農家の子弟に農業知識を授けることを目的に、1934年、郷土岡山県に三徳塾を設立しました。当財団はその遺志を継承して、岡山県において農業の振興に貢献した模範農業青年に1954年より毎年「矢野賞」を贈呈しています。2025年度も岡山県知事より推薦された下記3名を、第72回受賞者に決定しました。

贈呈式は2025年10月31日に「第一生命保険株式会社日比谷本社」において実施し、各人に賞状、賞牌および賞金100万円を贈呈し、その功績を表彰しました。

- ・岡崎 伴明（43歳） 経営部門：水稻・麦・野菜（レタス） 岡山市（備前）
- ・岡本 和正（42歳） 経営部門：果樹（もも） 倉敷市（備中）
- ・與田 十也（38歳） 経営部門：野菜（トマト） 高梁市（備中）

累計受賞者数は236名になりました。

### (2) 岡野敬次郎博士記念奨学金

故人が、第一生命を設立するにあたり、よき理解者・協力者であった故岡野敬次郎博士の遺徳を顕彰するため、博士が教鞭を執られた東京大学・中央大学の大学院生を対象に、1954年に奨学金制度を設け現在に至っています。

本年度も、両大学から各3名合計6名の大学院生の推薦を受け、理事会にて選考のうえ各人年額60万円、総額360万円の奨学金を交付しました。

### (3) 池田謙三翁記念奨学金

故人が、第一生命を設立するにあたり、多大なご協力をされ、その初志達成に尽力された故池田謙三翁の遺徳を顕彰するため、故翁の出身地、兵庫県豊岡市出石町所在の県立出石高等学校の生徒を対象に、1957年に池田奨学金制度を設け現在に至っています。

本年度も学校長より、高校2年在学の生徒5名の推薦を受け、理事会にて選考のうえ昨年度選考の高校3年在学の生徒5名と合わせ合計10名に、総額120万円の奨学金を交付しました。

### 3. 故人に所縁のある関連農業団体への支援事業・関連施設の維持・管理事業

#### <その他事業>

#### (1) 「恒心会」及び「三徳園友の会」への支援（補助金の支給）

恒心会は、矢野賞、三徳賞、新三徳賞の受賞者を会員として組織されています。会員はそれぞれの地区における有力な農業指導者であり、地域農業の振興に大きく貢献しているとして県当局からも後援されています。

本年も会員相互の研鑽や地域活性化活動の助成金として、申請のあった35万円を支給しました。

三徳園友の会は、恒心会および三徳塾同窓恒親会の会員で、かつ故人の三徳塾開設の精神を顕彰するという目的に賛同する者を会員として組織されています。本年度は、津山にて実施した総会・研究会の会場、会報作成並びに現地研修会に要した費用のうち、同会より申請のあった50万円を補助しました。

#### (2) 故人を記念し、保存すべき施設の維持および管理

①故人の生誕地跡にはかつて上竹原町公民館がありましたが、2000年3月に老朽化により取壊されました。建物撤去後は石碑、樹木等を残しており、近隣の先祖墓所を含め、その維持・管理を上竹原町内会と三徳塾同窓恒親会にお願いしております。その費用として上竹原町内会に10万円、三徳塾同窓恒親会に20万円、合計30万円を支出しました。

なお、三徳塾同窓恒親会は会員の高齢化が進んでおり、単独での活動が難しくなっていることから、関係者間で協議し2025年度で活動を休止することとなりました。今後は三徳園友の会が活動を継承します。

また、岡山市では市内の様々な歴史的由来等を現地で紹介し、市民や観光客がまち歩きを楽しめる環境を整備するため、2015年度より説明看板「岡山歴史のまちしるべ」の設置を行っております。この取組を受け、敷地内に矢野恒太の事績と生家跡地の概略を解説した「矢野恒太生誕地」の看板の設置が2026年3月に完了しました。

②故人及び池田謙三翁の墓所の維持管理を行いました。

### III. 法人管理部門

#### 1. 役員等に関する事項

2025 年度末現在の役員、評議員は次のとおりです。

役員（理事 8 名、監事 2 名）

（五十音順）

理事長	渡邊光一郎			
常務理事	木下秀之			
理事	江頭憲治郎	大島卓	西澤敬二	
	舟岡史雄	増岡隆一	綿引宏行	
監事	菱田真	安井喜重		

評議員（8 名）

（五十音順）

稲垣精二	大橋正春	生源寺眞一
隅野俊亮	林省吾	福原紀彦
山口隆司	美添泰人	

#### 2. 役員会等に関する事項

2025 年度に開かれた理事会および評議員会は次のとおりです。

##### (1) 理事会

- ① 第 39 回理事会は、決議省略の形式に従い、2025 年 5 月 27 日付にて、次の議案につき承認可決されました。

##### <決議事項>

- ア. 2024 年度事業報告及び財務諸表等承認の件
- イ. 定時評議員会日時及び場所並びに目的である事項の件

- ② 2025 年 6 月 24 日、第 40 回理事会を開催し、次の議案につき承認可決されました。

<決議事項>

ア. 理事長及び常務理事選定の件

イ. 岡野敬次郎博士・池田謙三翁記念奨学金、奨学生選考の件

③2026年3月13日、第41回理事会を開催し、次の議案につき承認可決されました。

<決議事項>

ア. 2026年度事業計画及び収支予算等承認の件

(2) 評議員会

①2025年6月24日、第15回評議員会を開催し、次の議案につき承認可決されました。

<決議事項>

ア. 議長選出の件

イ. 議事録署名人選出の件

ウ. 2024年度事業報告及び財務諸表等承認の件

エ. 理事選任の件

オ. 監事選任の件

(3) 登記事項

①2025年6月24日付にて選任された新任理事（綿引理事）の変更登記を行いました。

②2025年6月24日付にて選任された新任監事（安井監事）の変更登記を行いました。

## IV. 法人の運営体制の充実を図るための取組

### 1. 外部監事の選任

新たに安井喜重監事を選任し、自律的ガバナンスの充実を図りました。毎月、月例報告書を送付し、代表理事の業務の執行状況を報告しています。

### 2. 外部理事の充実

岡野學理事逝去による減員に対し、新たに綿引宏行理事を選任し、自律的ガバナンスの充実を図りました。年度末時点で理事8名中外部理事は6名となっています。

### 3. 決裁書様式の見直し

定型決裁書に反社チェック欄を設け、全ての決裁手続きに際し、反社チェックの失念・遅延防止、着実な実施体制の充実を図りました。

### 4. 統計普及・啓発事業の質の向上

全統計書籍の発行に際し、読者カード（郵便はがき）を挟み込み、読者の方々のご意見・ご要望を活かすよう努めています。